

# お口の<sup>くち</sup>の

## 健康情報室

歯の外傷は、歯が割れる「破折」と「脱臼」の大きく二つに分けることができます。今回は「破折」についてお話します。

破折は、歯が育っている最中の小学校高学年～中学生で発生しやすい外傷です。発生した部位によって、対応が異なります。

歯茎から出ている「歯冠部」で破折が起きた場合、折れたのが歯の先端で、冷水などがしみる程度なら、緊急度は低

## 「破折」部位で対応異なる

いと考えられます。ただし、放置してはいけません。なるべく早めに医療機関を受診するようにしましょう。

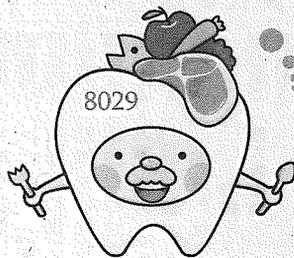
一方、破折部が歯肉に近くて深く、神経が出ている場合には、細菌に感染して痛みやうみが出る可能性が高くなります。完全な治療が難しくなることもあるので、早急に医療機関を受診してください。

歯茎で隠れている「歯根部」の破折の有無は、ガーゼなどで歯冠部をつまみ、歯がどのくらい揺れるかで判断します。動揺がみられるときは、歯根部の破折か歯の脱臼を起していることが考えられます。このような場合にも、早

急な治療が必要です。

歯の動揺がみられず、歯冠部の破折片が少なくても、冷水にしみるなどの症状があるときは、放置してはいけません。医療機関を受診し、レントゲンなどの検査を受ける必要があります。

(千葉県歯科医師会)



「8029 運動」PRRキ  
ャラクター もべいじ